

もっと清水が好きになる。

しんずの風

2024

8

No.610



特集

第52回通常総代会

**求められるJAに
持続可能な農業を実現**



求められるJAに 持続可能な農業 を実現

JAしみずは6月18日、清水テルサで第52回通常総代会を開き、2023年度の事業報告、24年度の事業計画など全6議案が承認されました。24年度の販売計画では前年比1.98%増の40億2703万円を目指します。

協同組合の原点に立ち、求められるJAへ
健全経営によりさらなるサービス向上を目指す



代表理事組合長
石切山 誠

2023年度は経営的にも大変厳しい状況下でしたが、組合員の皆さまのご理解とご協力のもと、事業計画を達成することができました。

昨今、食料品等の物価高騰により生活環境は厳しさを増し、農業を取り巻く環境も、燃油、肥料をはじめとする生産資材価格の高騰が農業経営を圧迫してきています。そのような中、「食料・農業・農村基本法」の改正法が6月5日に交付、施行となりました。長年の懸案であった「生産コストの合理的な費用に伴う価格転嫁」を後押しする必要があると盛り込まれておりますが、JAとしましては今後も引き続き、持続可能な清水の農業の確立に向け、国への要請はも

とより、消費者へも理解を求めています。必要があると思っております。

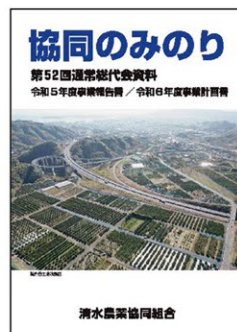
当JAでは、農家所得の向上実現のため、買取販売に取り組んでおり、営業活動の強化に力を入れた結果、農家の皆さまの所得向上額は6000万円となりました。引き続き、ネット販売や無人店舗の営業展開により、さらなる拡大を図って参ります。

また、拠点の再編成に向け「出向く体制」を強化するとともに、新たな予約購買システムの試験導入やJAポータルへの運用を始めております。柑橘選果場の整備につきましても、中部地区4JAでの協議を踏まえ、建設委員会での具体的な検討を重ね、2026年度の運用開始に向け進めております。

あらためて協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまから求められるJAを目指して、今後も役職員一丸となって各事業の収支均衡を図り、健全なJA経営を行うことで組合員の皆さまへのさらなるサービス向上につなげていきたいと考えます。

議 案

- 第1号議案 2023年度事業報告および剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 定款および定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 第3号議案 2024年度事業計画の設定について
- 第4号議案 理事の報酬の決定について
- 第5号議案 監事の報酬の決定について
- 第6号議案 静岡市補助金等交付規則に基づく補助金の交付申請、請求、受領および実績報告等についての権限の一切を組合に委任することについて



総代会資料はホームページに掲載しています
<https://ja-shimizu.org>

2023年度 事業報告

年度初めに新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に引き下げられ、多くの国と地域で景気回復の流れが顕著な1年となりました。JAでは2か年計画の目標「生産・経営・組織基盤の強化」に向けて、取り組みを進めました。

営農振興事業

●量販店への卸販売、地元量販店でのイベント開催、店頭販売等により買取販売の拡充を図り、さらにオリジナルECサイトをオープンして一般向けのネット販売強化にも取り組みました。市場販売では、物価高騰に伴う再生産価格を算出し、取引市場



地域のイベントに出店し、地元農産物を販売(アグリ特販課)

と共有を図り、「定期相対取引・注文量の増加・注文価格の値上げ」につなげました。

●組合員の出荷調整作業軽減のため、パッケージセンターの安定的な運用体制を整えました。

●シキミ部会、ハウス苺部会、バラ部会、いちじく部会で「めざす将来像」の策定に取り組みました。

経済事業

●予約購買の強化を図り、有利調達
の拡大、奨励施策の見直しや年特肥料の引取割引を新たに導入するなど、生産資材高騰対策に取り組みました。

●営農拠点再編に向けた検討を継続しました。多様化する組合員のニーズや事務の効率化を図るため、新たな予約購買システムの試験導入やJAポータル運用開始に取り組みました。

●メモリアル清水の宣伝と会員勧誘

を兼ね、人形供養祭を2回開催しました。事前相談業務「葬儀なんでも事前相談」の対応と「メモリアル会員勧誘活動」に積極的に取り組みました。

信用事業

●シニア農業融資パートナーと営農指導員が連携し、ニーズに対応した農業資金の提案を行い、農業者の所得向上に取り組みました。

●FAによる訪問活動や窓口での相談機能を強化し、利用者のニーズに沿った提案を行いました。

共済事業

●「ひと保障」分野の新規・複数提案を行うために、医療共済と万一保障の点検活動を実施しました。

●不祥事防止の観点から、ペーパーレス・キャッシュレス手続きの徹底に取り組みました。

農地整備事業

●新規農業農村整備事業「船越地区」が事業に着手しました。

不動産事業

●支店と連携して組合員の財産診断を行い、相続対策や資産活用を提案しました。



メモリアル清水いはらホールで行った人形供養祭



出荷調整作業軽減ため、パッケージセンターを運用(駒越営農拠点)

2023年度

貸借対照表

(単位:億円)

資産の部	金額
信用事業資産	3,095.75
共済事業資産	0.00
経済事業資産	7.09
雑資産	10.94
固定資産	92.51
外部出資	138.07
繰延税金資産	6.14

負債の部	金額
信用事業負債	3,116.05
共済事業負債	6.48
経済事業負債	6.79
雑負債	22.78
諸引当金	5.17

負債の部 合計 3,157.29

純資産の部	金額
組合員資本	198.51
評価・換算差額等	▲ 5.29

純資産の部 合計 193.21

資産の部 合計 3,350.51

負債の部・純資産の部 合計 3,350.51

自己資本比率

13.29%

総資産に占める自己資本の割合で、経営の健全性を示しています。自己資本比率規制による基準4%を大きく上回っています。

組合員数

正組合員 5,842人

准組合員 19,180人

損益計算書

(単位:億円)

事業総利益	36.25
信用事業	18.18
共済事業	8.76
購買事業	4.97
販売事業	2.82
利用事業	0.00
宅地等供給事業	0.99
農用地利用調整事業	0.00
農家経営支援事業	0.27
農地基盤整備事業	0.56
指導事業	▲ 0.33
事業管理費	35.45
人件費	25.35
その他事業管理費	10.10

事業利益	0.79
事業外損益	2.67
事業外収益	6.15
事業外費用	3.47
経常利益	3.47
特別損益	▲ 0.25
特別利益	—
特別損失	0.25
税引前当期利益	3.22
法人税等合計	0.62
当期剰余金	2.60
当期首繰越剰余金	11.91
当期末処分剰余金	14.51

作物別販売高

(単位:億円、%)

作物	2023度計画	2023年度実績	計画対比	前年対比
ミカン	12.49	13.12	105.06	121.71
中晩柑	3.90	3.49	89.54	90.88
荒茶	1.52	1.37	90.40	82.54
生葉	0.22	0.12	55.28	39.22
花卉	3.90	3.61	92.68	95.99
エダマメ	2.43	2.17	89.35	94.60
イチゴ	3.28	2.53	77.27	86.55
トマト	0.96	1.03	106.52	104.24
その他	3.32	3.45	103.95	92.31
仕上茶	1.08	1.14	105.71	116.15
農産物買取販売	3.66	3.81	103.95	100.72
グリーンセンター直売	2.15	2.23	103.98	107.19
(株)ジェイエイしみずサービス直売	1.31	1.36	103.76	90.13
計	40.25	39.48	98.08	102.03

2024年度 事業計画

2か年計画の最終年度として、前年に引き続き、組合員の皆様への適切なサービスの提供を可能にする仕組みの確立に向けて、「生産・経営・組織の基盤強化」を図るための取り組みを実践してまいります。

営農振興事業

- 買取販売強化や出荷調整作業軽減、作物組織支援強化等により農家所得の向上と農業振興に取り組みます。
- 営業による新規取引先の拡大を進めるとともに、新たな販売体系として無人店舗を試験的に運用します。

経済事業

- 農業所得向上や豊かな暮らしをサポートする商品提案で組合員に選ば



2024年4月、ちゅ〜るスタジアム清水の向かいにムジヨンキラリをオープン

信用共済事業

- 生産購買事業では、営農指導員や購買担当者が積極的に組合員とコミュニケーションをとり、個々のニーズを掘り起こしながら補助事業などを活用した提案に取り組みます。

- 農業と地域の成長を強力に支援し、環境変化に対応した相談・提案機能の充実と利便性の向上による顧客満足度の向上に取り組みます。

- 農業経営支援システムを活用した経営診断を実施し、農業者のニーズに対応した農業資金の商品提案を行います。

- 組合員・利用者が必要とする保障・サービスの提供に取り組みます。
- 組合員・利用者のライフステージのタイミングに合わせて情報提供・保障点検を実践し、将来の事業基盤の確保や拡大に向けて推進活動の展開に取り組みます。

れる購買品を提供します。

信用共済事業計画

貸出金残高 **864.9** 億円 [2023年度実績] 837.6億円

貯金残高 **3,102.1** 億円 [2023年度実績] 3,048.9億円
※2023年度実績には公金50億円を含めておりません。

長期共済保有高 **6,098.5** 億円 [2023年度実績] 6,228.7億円

営農振興事業販売高計画

40億 2,703 万円
[2023年度実績] 39億4,864万円

経済事業供給高計画

22億 9,674 万円
[2023年度実績] 22億1,230万円

総合収支計画

(単位:億円)

事業総利益	35.51
信用事業	17.38
共済事業	8.62
購買事業	5.13
販売事業	2.86
利用事業	0.00
宅地等供給事業	1.00
農用地利用調整事業	0.00
農家経営支援事業	0.26
農地基盤整備事業	0.69
指導事業	▲ 0.44
事業管理費	35.25
人件費	25.20
その他事業管理費	10.05

事業利益	0.25
事業外損益	2.86
事業外収益	6.28
事業外費用	3.42
経常利益	3.11
特別損益	▲ 0.20
特別利益	0.10
特別損失	0.30
税引前当期利益	2.91
法人税等合計	0.79
当期剰余金	2.12

2024年度 自己改革工程表



JAしみずは組合員との対話に基づき、自己改革の基本目標「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の実現に向け、具体的な数値目標などを策定して「自己改革実践サイクル」に取り組んでいます。

1. 農業者の所得増大・農業生産の拡大

買取販売の拡大による 農業者手取価格の増加



<取組内容>

- ・消費者ニーズを把握した商品構成の見直しによる販売強化。
- ・実需者ニーズに対応した卸販売の拡大。
- ・ECサイトやカタログギフトによる通信販売の拡大。

2023年度	2024年度 目標
目標 6,082万円	6,252万円
実績 5,979万円	市場販売と比べた手取り 25%増

パッケージセンター拡充による 労働時間削減



<取組内容>

- ・バラ、イチゴ、エダマメ、トマトのパッケージセンター機能を拡充。
- ・パッケージセンター利用者の出荷調整作業の軽減により、生産規模拡大を図る。

2023年度	2024年度 目標
目標 7,760時間	7,770時間
実績 6,685時間	労働時間削減効果 1人当たり平均 298時間

一括仕入れに向けた予約購買の推進による コスト低減



<取組内容>

予約購買の強化により需要把握の精度を上げ、早期大量仕入れや入札、他JAとの共同仕入れなど有利調達を徹底し、仕入れコスト削減につなげる。

2023年度	2024年度 目標
目標 132,000袋	116,000袋
実績 126,787袋	コスト低減効果 1袋 150円

グリーンセンター 直売品売上高の増加



<取組内容>

産直出荷者へのサポート（荷造り・出品・新規作物）、農業講座「園芸塾」修了生への出品支援と販売支援の実施。

2023年度	2024年度 目標
目標 2億1,530万円	2億2,553万円
実績 2億2,388万円	売上増加効果 売上高 7.9%増

2. 地域の活性化

しみずみらい応援団活動による 農業振興・社会貢献

2023年度	目標 400万円
	実績 377万円



<取組内容>

- ・地域の子ども食堂など福祉団体の活動を支援し、食と農を通してすべての子どもたちの成長を応援する。
- ・農産物販売の売り上げの一部を「あしなが育英会」へ寄付し、子どもたちの就学などを支援する。

3. 経営基盤の確立・強化

直近の経営環境等を踏まえた5年後のシミュレーションを行ったところ、信用共済事業、営農経済事業ともに収益減少が見込まれています。しかし、業務量は一定程度あり、人件費をはじめとする事業管理費は横ばいで推移すると想定されるため、今後はより実効性の高い収支改善策の実践が求められます。将来にわたって収益性・健全性を確保するため、経営基盤強化に取り組みます。

営農経済事業本部の収支改善

2024年度 目標

営農センター・拠点の再編成案の策定・実施に向けた準備を開始

金融共済事業本部の収支改善

2023年度 目標

2店舗(両河内・三保支店)で
ブランチインブランチ方式※導入

進捗状況

2024年
2月に導入

※1つの店舗内に複数の支店が営業する店舗形態

農業経営安定化に向けた 優良農地の整備

<取組内容>

労働生産性の向上、農業所得の向上、農業経営の安定化に向け優良農地を整備する。

2023~24年度 目標	進捗状況(計画)
加瀬沢・矢部地区 完了	加瀬沢地区 100% 矢部地区 100%
池ノ沢・船越地区 事業継続	池ノ沢地区 45% 船越地区 5%



加瀬沢地区

4. 対話・意思反映



改革の評価の把握に向けた正組合員との対話や、運営委員会、作物別座談会等の開催のみならず、地域に根ざしたJAを目指すため、広報モニター等を通じて「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声にも耳を傾けます。正組合員と准組合員が一体となったJA運営の実現に努め、組合員の評価を踏まえながら随時必要な見直しを行います。



項目	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標
組合員訪問(訪問先)	5,660先	5,512先	5,360先
作物別部会員座談会	12回、120人	10回、83人	10回、90人
准組合員広報誌モニター	40人	40人	40人
運営委員会等	132回、263人	124回、254人	124回、256人
青壮年部・女性部との意見交換会	3回、41人	3回、38人	3回、43人

青壮年部 経営講座 農業経営改善の手法探る

JAしみず青壮年部は5月30日、農業経営の改善について、ファームサイド(株)の佐川友彦代表取締役を招き、本店で経営講座を開きました。佐川氏は、月刊誌「地上」(家の光協会)で農家の課題解決のヒントとなる話題を連載中。講義では「経営改善は『学習と実践』両方が重要な要素。自己評価しながら改善をしていく事が必要」と訴え、事例を紹介しました。

経営講座は佐川氏を招いて9月と12月の計3回開く予定。同部の青木雄基部長は「改善には積み上げが大事。青壮年部の中に水平展開していきたい」と話しました。



▲ 講師の話を熱心に聞く受講生

プラム部会 品種リレーで8月上旬まで出荷

JAしみずプラム部会は6月5日、集出荷センターで酸味と甘みのバランスがよい初夏の果物、露地スモモ「大石早生」の出荷を始めました。「大石早生」は果肉が淡い黄色でやわらかく、完熟すると果皮が鮮やかな赤色になり、食べるとジューシーでさわやかな甘酸っぱさが特徴。

「大石早生」に続いて、6月下旬からは「ソルダム」、7月上旬からは「太陽」と品種を替えながら8月上旬まで、東京と静岡市内の市場や地元量販店へ約5万パックを出荷する予定。同部会では12戸が3haで栽培しています。



▲ 初出荷の前に、出荷基準を確認する生産者

清水小島小 児童が梅干し作り体験

静岡市立清水小島小学校の児童18人は6月5日、同校で梅干し作りを体験しました。JAしみず小島支店の一地域一協同活動の一環で、地元の梅生産者である堀池梅子さんと堀池長美さんが講師を務めました。梅子さんは2007年の全国梅干しコンクールで最優秀賞を受賞した名人で、同校での指導は今年で17年目。

この日は梅のヘタをつまようじで取った後、塩漬けにする作業を行いました。今後、赤じそ漬けと天日干しなどを行い、梅干しができた後は、家庭に持ち帰り味わう予定です。



▲ 梅のヘタを取る児童と堀池梅子さん

女性部蒲原支部 ラッキョウを甘酢で本漬け

女性部蒲原支部の加工グループは6月3日、グループと女性部員約20人が参加し、ラッキョウの甘酢漬けの本漬け作業を蒲原支店集出荷場で行いました。本漬けは、塩水で下漬けしておいたラッキョウを水洗いし、根や皮を取り除いてから甘酢に漬ける作業。甘酢作って軽く沸騰させ、ラッキョウと一緒に瓶に入れていきます。今年は計260kgを漬け、約2カ月寝かせた後、パック詰めし、グリーンセンターや直売所「はっぴい」で販売します。

同支部の磯部のぶ子さんは「今年は豊作ですべて地元産で漬ける事ができた」と笑顔を見せていました。



▲ 下漬けしておいたラッキョウを洗う部員

清水船越小3年生 「お茶応援隊」児童が茶摘み

静岡市立清水船越小学校3年生約100人は6月17日、「お茶応援隊、出動」と銘打った総合の授業で、地域の茶農家・水野正一さんの茶園を訪れ、茶摘みを体験しました。

児童は、茶園の新芽に鼻を近づけて「いい匂いがする」「(飲む)お茶にするには乾燥させるんだよ」など、感想や事前に調べた事を話しながら、一芽ずつ摘んでいました。学年主任の中野陽子教諭は「体験を通し、子どもたちの『やりたい、知りたい』を引き出していきたい」と話し、地域の茶を盛り上げていく方法を児童たちが考え、学んでいく計画です。



▲ 茶摘みを楽しんだ児童

イチジク部会 生産拡大へ青壮年部と協力

JAしみずイチジク部会は6月18日、集出荷センターで総会を開き、2023年度事業報告と収支決算、24年度役員承認および24年度事業計画と予算を含む3議案を全員一致で承認しました。24年度の生産量は前年比110%の4万パック、売立金額は112%の1,280万円を目指します。

また、青壮年部と協力し、産地の維持発展と農家の収益向上策として2月にイチジクの苗木の増殖に着手。生産拡大を目指し、28年度に生産量4万3,600パック、販売金額1,400万円を達成する目標を共有しました。落葉果樹の中でもイチジクは未収益期間が短いメリットがあり、新規就農者や既存作物からの転作を増やしていきたい考えです。



▲ 総会で意見を交わす部会員たち

ハウスミカン部会 みずみずしく高糖度 8月中旬まで

JAしみずハウスミカン部会は6月27日、柑橘共選場で高級果物「ハウスミカン」の出荷を始めました。中元や盆の贈答需要が高く、8月中旬まで静岡市内の市場とJA直営店などへ約45tを出荷する見込みです。

清水産ハウスミカンは限界まで水分を抑えてできるだけ完熟で収穫し、5~6cmとやや小ぶりながらも糖度13度前後と味にこだわって栽培しています。

JA柑橘担当者は「ハウス栽培のため安定した品質が特徴。色形や味もますますの出来に仕上がった」と話しました。

同JA管内では、同部会の生産者7戸が104aで「宮川早生」と「興津早生」を栽培しています。



▲ 選果作業を行う従業員ら

清水地区安全運転管理協会 功績たたえ、事故防止に寄与

清水地区安全運転管理協会は5月28日、清水テルサで、交通安全功労者などの表彰式を開き、JAしみず総務課で公用車運転手の山本薫担当が優良運転者として表彰を受けました。表彰式では、県安全運転管理協会長表彰、清水署長・清水地区安全運転管理協会長表彰、同協会長表彰の各表彰について、安全運転管理業務を理解し、事故防止に貢献したとして、優良安全運転管理者、優良事業所、優良運転者の区分ごとに賞状が贈られました。荻和進会長は「引き続き交通道德の高揚と事故抑止の活動に努めてほしい」と呼びかけました。



▲ 表彰を受けた公用車運転手の山本担当(中)

JA各地域で開催 年金感謝デーと生活フェア

JAしみず各支店では6月中旬、年金感謝デーを開き、隣接する営農センターや営農拠点で生活フェアや朝市を同時開催しました。

支店では、JAで年金を受け取っている顧客などに日ごろの感謝を伝えながら記念品を手渡したほか、積極的に貯金や共済の推進活動を行いました。

会場内には地元の農産物や加工品、生活用品の販売、キッチンカーなど各地域趣向を凝らした商品やテントが並び、多くの来場者が訪れていました。



▲ お買い得な商品が並んだ生活フェア

清水駒越小 エダマメ収穫・試食体験

静岡市立清水駒越小学校の5年生約40人は6月25日、5月上旬に校庭内のハウスに児童が植えたエダマメ「サヤムスメ」を収穫しました。

一地域一協同活動の一環として、毎年JA駒越営農拠点と生産者が協力。児童は生産者の堀直広さんから収穫方法の説明を受けた後、ハウスに入り収穫すると「サヤいっぱい」にエダマメが詰まっていたと「早く食べてみたい」と笑顔で話していました。

収穫後は、自分たちで枝からサヤをはずしてゆでる体験もし、とれたてを味わいました。



▲ 校庭のハウス内で収穫する児童ら



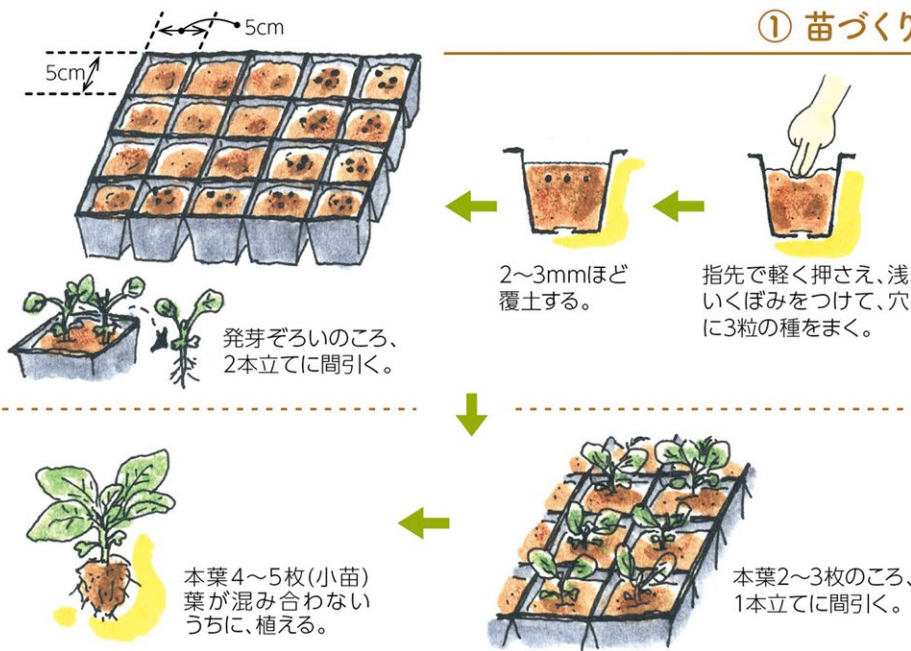
ハクサイ

ハクサイは大きく結球種、半球種に分けることができます。近年は、内部の葉まで黄色の黄芯系の品種が好まれるようになってきました。

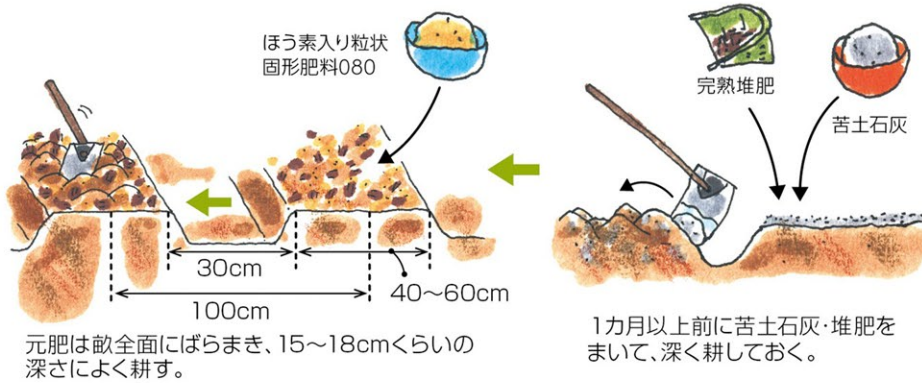
冷涼な気候を好み、生育適温は15～20℃で、比較的適温の幅が狭く、キャベツなどに比べるとまきどきは限定されます。また、軟腐病などの土壌被害が出やすいので2年の輪作を心掛け、畑の排水をよくして栽培することが大切です。



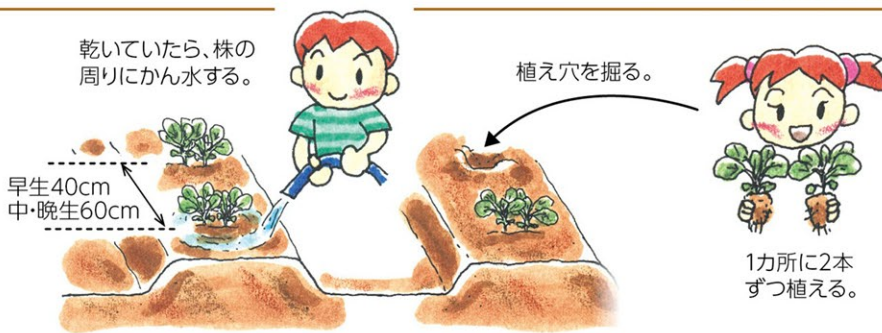
① 苗づくり



② 畑の準備



③ 植えつけ



■ 栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培(早生)								●	◆	■		
露地栽培(中～晩生)	■								●	◆	■	

● 種まき ◆ 植え付け ■ 収穫

■ 施肥例

種類		施肥量	施用時期・方法
元肥	完熟堆肥	90kg	作付け 1カ月前施用
	苦土石灰	9kg	
	ほう素入り粒状固形肥料080	15kg	作付け2週間前施用
追肥	ほう素入り粒状固形肥料080	4.5kg/1回	⑤追肥の項を参照

1aあたり

グリーンセンターおススメ! アイテム

アルミ合金製ハウスカー「愛菜号」
CH-300 1台 12,237円(税込)



本体3.1kgと軽量!!
ご年配の方でも安心です。

移動や車への積み下ろしを楽に行えます。



使用タイヤ: ノーパンクタイヤ9MO-9.5 (直径約21.8cm)

グリーンセンター センター長
菅原 章人

■ 商品については...



グリーンセンター
054-367-2112

⑤ 追肥



ほう素入り粒状固形肥料080
大さじ1/1株

第1回 植えつけ20日後、株の周りにほう素入り粒状固形肥料080をまいて、軽く土と混ぜる。

第2回 第1回の20日後、畝の片側に軽く溝を作り、ほう素入り粒状固形肥料080をまいて土を混ぜ、畝の肩に土寄せする。

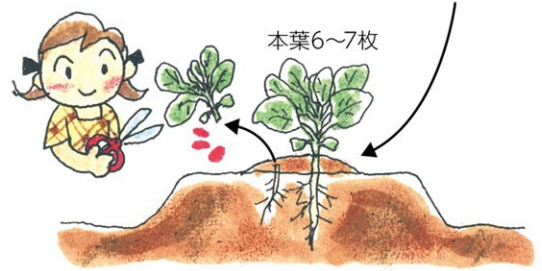
ほう素入り粒状固形肥料080

ほう素入り粒状固形肥料080

第3回 畝全面が葉に覆われる前、第2回追肥の反対側へ、様子を見ながら前回と同様に施肥する。(Q&A参照)

④ 間引き(株定め)

株元がぐらつかないように、土を少し寄せる。



軟弱なハクサイは、生育初期に雨風や害虫の害を受けやすいので、1カ所2株植えにしておき、活着して盛んに伸び出したころに、間引きして1本立てとする。

⑥ 収穫



頭を押さえてみて、固く締まっているようなら収穫してもよい。



球を斜めに押し倒し、外葉との間に包丁を入れて切り取る。



外葉をしばっておくと、寒さによく耐え、若干収穫時期を遅らせることができる。

ここが知りたい!

Q&A



結球ハクサイを作ったが、球の締まりが悪い

A まきどきを守り、肥切れさせないで育てる

結球ハクサイの球は80~100枚もの多くの葉によって形づくられています。まきどきが遅いと、花芽分化するまでに結球するための葉が確保できず、球の締まりが悪くなってしまいます。



しかし、早くまき過ぎると、秋の栽培の場合には育苗時期が夏の暑い盛りにぶつかるので、苗がよく育たず、病害が出やすくなってしまいます。

大きく、締まった球を作るには、まきどきを守り、結球開始までに肥切れさせないよう適期に追肥を行うことが重要です。追肥の時期は、植えつけ20日後で1回目、その20日後くらいに2回目を行うのが目安です。3回目は様子を見ながら、結球開始までに必要な場合に施用します。

■病虫害防除

散布量：30L以内/1a

病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数
軟腐病、黒腐病	コサイド3000	2,000倍	—	—
アオムシ、コナガ等	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3回以内
アブラムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000~3,000倍	収穫3日前まで	2回以内
ヨトウムシ、アブラムシ類等	オルトラン粒剤	1~2g/株	定植時	1回

記載の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

☑️ご注意ください 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。





9月は茶の樹の地上部や地下部の成長が活発になり、次年度の一番茶を生育させるための養分蓄積が開始されます。この時期に、葉層を十分に蓄え、光合成をさせることで、翌年の収量や品質に好影響を与えますので、基本に沿った管理を行ってください。また、下旬には秋整枝が始まりますので、茶園の状況を把握し、計画的に実施してください。

■病害虫防除(表①)

主に秋芽に対して防除を行う園地としては、秋冬番を摘採する園地や更新園が該当します。秋芽萌芽から開葉期の害虫に注意し、発生確認後速やかに、基準に沿った防除を実施してください。

また、マダラカサハラハムシの発生も拡大しています。8月から9月が成虫の羽化時期となり防除適期となりますので、8月に防除を実施していない園地は、必ず防除を実施してください。



マダラカサハラハムシ成虫



マダラカサハラハムシ被害葉



マダラカサハラハムシ被害芽

【写真：静岡県病害虫防除所提供】

■施肥(表②)

秋肥は、越冬芽の充実と翌年一番茶への寄与を図るため秋整枝前に施肥します。冒頭でも述べたように、この時期の養分蓄積が翌年一番茶の収量・品質への寄与率が高いため、基準に沿って確実に実施してください。

■秋整枝

秋整枝は、単純に摘採面を均一にする作業ではなく、翌年一番茶の収量構成を担う重要な作業ですので、茶園の状況を把握し計画的に実施してください。

■秋整枝の整枝位置

秋整枝の位置(深さ)は三番茶の生育状況によって判断してください。

① 三番茶の生育が良い場合

三番茶芽の下位2~3枚目の間で、三番茶の下位から2節残してください。

② 三番茶の生育が悪い場合

三番茶芽の頂芽をできるだけ残し、秋芽のみを除去する程度の浅い整枝とし、次年度の有効芽を確保してください。

③ 更新園の場合

更新後の再生枝の下位から2節を残して秋整枝を行います。7月に整枝をした場合は、その後出てきた芽を2節残します。

④ 更新園や芽重型茶園など徒長している茶園

日焼け防止のため、2回に分けて秋整枝を行います。1回目の整枝は、本整枝の7日前を目安に、本整枝位置より3節上で実施します。

■秋整枝の時期

気温の推移を正確に予測することは困難ですが、気象予報に留意するとともに、園地の場所による差にも配慮し、平均気温が19℃~20℃になった頃を実施の目安にしてください。遅すぎると、越冬芽の形成が遅れ一番茶に影響が及びますので、遅くとも10月末までに実施してください。

★清水の芽重型茶園の秋整枝方法

清水の芽重型茶園の認定要件は、原則「年間成長量15cm以上」です。

年間成長量とは葉層とは異なり、「前年の秋整枝位置」から「本年の秋整枝位置」までの長さ、更新園では「本年更新位置」から「本年秋整枝」までの長さですので、年間成長量を確保するために整枝前の位置確認を必ず行ってください。

表① 秋冬番を摘採する茶園への防除(防除基準の摘要に掲載)

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
秋芽 開葉期	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホコリダニ チャトグコナジラミ マダラカサハラハムシ	ハチハチフロアブル (劇物)	1,500倍	14日	1回

※ 病害虫発生確認後防除

表② 施肥

(10aあたり)

施肥名	コース名	施用時期	肥料名	施用量
秋肥	「基本」	秋整枝前(9月)	しみず長効き配合	5袋
	「こだわり茶園」	8月中下旬	ごまみどりペレット	4袋
		秋整枝前(9月)	しみずパワフル配合	4袋
	「省力ロング」	秋整枝前(9月)	しみずパワフル配合	5袋

■病害虫防除

表①を参考に防除してください。極早生は、収穫前日数に注意が必要です。また、ポンカンおよびはるみは、ペンコゼブ水和剤の収穫前日数90日にご注意ください。秋のミカンハダニの被害は品質低下につながるため、適期防除を心がけてください。



■管理作業

表②を参考に摘果してください。青島温州は9月以降が後期摘果の時期となります。果皮がなめらかになった頃に摘果することにより、無摘果に比べ糖度が上昇する傾向があります。増糖効果を得るためにも、極小果、内・裾なり果、傷果、腰高果等を中心に1本の樹を短時間で摘果し、葉果比を25枚に1果まで近づけてください。

著しく着果量が少ない樹は、収穫前の樹上選果で対応してください。

表③を参考に中晩柑類に初秋肥を施用してください。

表① 病害虫防除(柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}	茶登録
温州ミカン	8月下旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※3}	2,000倍	21日—2回	○
		ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日—1回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤 ^{※2}	600倍	30日—4回	×
中晩柑 ^{※4}	9月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル ^{※3}	2,000倍	21日—2回	○
		ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日—1回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤 ^{※2}	600倍	90日—4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数—散布回数」をあらわす。

※2 耐雨性向上を図るため、黒点病防除散布時にはアピオンE1,000倍を混用散布する。

※3 キラップフロアブルについては、着色期以降に使用すると葉害が発生する恐れがあるため、使用しない。

※4 台風襲来によりかいよう病の多発が予想される場合は、クレフノン200倍加用、ムッシュポルドーDF1,000倍(-)を台風襲来前に散布する。

～その他共通注意点～

- 9月防除以降、チャノキイロアザミウマ多発園やハマキムシ発生園では、ディアナWDG10,000倍(前日-2回)を散布する。
- 9月防除以降カメムシが発生した場合には、ロディー乳剤(劇)2,000倍(7日-4回)を散布する。ただし、ハダニの天敵へも影響し、散布後にミカンハダニが増加する可能性があるため注意する。
- 昨年、カタツムリ類が多発した園地ではスラゴ(5g/m²)を樹の周囲に設置する。

表② 摘果(柑橘)

品目	摘果する果実	残す果実	摘果終了時期目安	最終適正葉果比
青島温州	内・裾なり果、極小果、著しい外観不良果	外なり果、少々の外観不良果、軸太果、天なり果、極大玉果 ※ 軸太果、天なり果、極大玉果、外観不良果は10月下旬以降の樹上選果で摘果する	10月中旬まで	25～30枚に1果
太田ポンカン	直花果、短い有葉果、樹上1/3全摘果(主枝垂主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	外周部の有葉果 10cm以上で5枚程度の果梗枝の細い有葉果	9月上旬まで	100～120枚に1果

表③ 施肥(柑橘)

(10aあたり)

品目	施用時期	肥料名	10aあたりの施用量
はるみ・不知火・清見	9月上旬	かんたくんBB改	2袋
甘夏・スルガエレガント			3袋

■病害虫防除

最終防除として中生・晩生品種では8月下旬～9月上旬中に栽培暦に従い、ブラシンフロアブルでいもち病・もみ枯細菌病、トレボン乳剤でカメムシ・コブノメイガ等の防除をします。毎年問題となるウンカには、トレボン乳剤、エクシードフロアブルが効果的です。

■収穫適期

米作りも仕上げ段階になります。一般的に、早刈りすると青米や未熟米が多くなり、食味・品質・収量ともに低下します。逆に刈り遅れた場合は、玄米の光沢が失われ、胴割米が多くなり品質が低下します。

収穫適期の目安は、出穂後日数で早生種35日前後、中生種40日前後、晩生種45日前後です。

さらに正確に適期を知るには、少しでも緑色を呈している籾

(帯緑籾)の割合から判断する方法があります。生育が平均的な株を調べ、稔実中の帯緑籾の割合が5～10%の 때가収穫適期となります。また、帯緑籾が半減する日数は、8月～9月中旬でおおよそ5日間、9月下旬以降でおおよそ7日間が目安です。





■病害虫防除

薬剤散布に加え、園内清掃に努めることが病害虫防除では重要です。

特にイチジクの黒かび病発病果は媒介昆虫を誘引し、二次伝染病となるため早期に除去し、処分してください。梨の黒星病が発生した葉は落葉、地表面で越冬し、翌年の発生源となるため土壌にすき込む、または圃場外に持ち出すなど対策しましょう。

■管理作業

イチジクは収穫期のため、継続的な施肥を行ってください。収穫を終えた品目は、翌年に向けた樹勢回復のために必ず礼肥を施用してください。

台風シーズンのため落葉、落果防止のため台風対策を行ってください。

表① 病害虫防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期※2	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1
イチジク	9月下旬	さび病・疫病	アミスター10フロアブル	1,000倍	前日—3回
柿(次郎、四ツ溝)	9月上旬	うどんこ病・炭疽病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	14日—3回
梨(幸水、豊水)	9月中旬	黒星病	キノンドーフロアブル またはドキリンフロアブル	1,000倍	3日—9回
キウイフルーツ※3 (ヘイワード)	9月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	前日—5回
	9月下旬	クワシロカイガラムシ	アブロード水和剤	1,000倍	前日—2回
キウイフルーツ (東京ゴールド)	9月上中旬	クワシロカイガラムシ	アブロード水和剤	1,000倍	前日—2回

表② 施肥(落葉果樹)

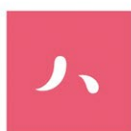
品目	施用時期	肥料名	施用量
イチジク	9月上旬	粒状固形30号プラス小粒	1.5袋/10a
	9月下旬		
梨	収穫後	粒状固形080	3袋/10a

※1 使用基準は「収穫前日数—散布回数」をあらわす。

※2 天候と害虫の発生状況に応じて、散布時期を調整してください。

※3 カメムシ類の発生が多い場合は、アドマイヤーフロアブル2000倍(前日-2回)を散布する。

咲き分けのハナモモ「源平」



ハ ナモモには1本の木や枝にピンク、赤、白や斑入り(白地にピンクや赤の斑)の花が混在する「源平」(げんぺい、写真①、②)という品種群があり、このような咲き方を「源平咲き」といっています。「源平」の語源は、平安時代の源平合戦の際、源氏の旗が『白』、平氏の旗が『赤』だったことに由来するそうです。

さて、一つの木や枝に違う色の花が咲くなんて不思議なことがあるものです。普通、一つの木は金太郎飴のようにどこを切っても同じ遺伝情報で同じ花が咲くと思いますが、その絡繰り(からくり)はどうなっているのでしょうか。「斑入り」に限れば本誌5月号で紹介したキメラ(異なった遺伝子を持つ細胞が混在)による斑入り、ウイルスによる斑入りなどが考えられます。

また、アサガオでは、染色体の中を移動して正常な遺伝子に侵入したり離脱したりして遺伝子の異常を来すトランスポゾン(「動く遺伝子」)が関与しているそうです。一方、咲き分けのハナモモ「源平」では、花色をコントロールする Peace(平和)と命名された遺伝子の存在が明らかにされています。源平合戦同様に、『赤』と『白』がせめぎ合っている状況で「平和遺伝子」が仲立ちをしているとは少し話ができすぎているとは思いませんか。

農にまつわる

エ・ト・セ・ト・ラ

et cætera

農業にかかわるよもやま話を
不定期にお届けします。



写真①
源平枝垂れ(全景)
写真提供:山口正己氏



写真②
源平枝垂れ(花)
写真提供:山口正己氏



• 梅干し …… 2~3個

[肉みそ]

A 鶏ひき肉 …… 200g
えのきだけ …… 100g
白ネギ …… 1/2本
ショウガ …… 1片

• 白みそ(西京みそ) …… 大さじ2

[スープ]

B 白練りゴマ …… 大さじ2+小さじ1
中華風チキンスープの素 …… 小さじ1弱
しょうゆ …… 大さじ2+小さじ1
水 …… 1カップ

• 酢 …… 小さじ1

• 牛乳 …… 1カップ

[具材]

• キュウリ …… 1本

• 大葉 …… 6枚

• そうめん …… 好みの量



梅干しそうめん 担仔麵風

～ゴマ香る辛みのないスープに、梅のアクセント～

(1) 梅干しを準備する

- ① 梅干しのタネを取り除く。
- ② 肉みそ用: 果肉を粗く刻む(大さじ1程度にする)。
- ③ スープ用: ペースト状になるまでたたく(小さじ1程度にする)。
- ④ 残りはトッピング用に取っておく。

(2) 他の材料を準備する

- ① えのきだけは先端から小口切りにする。ネギはみじん切りにする。ショウガはすりおろす。
- ② そうめんはゆで、冷水に取る。盛り付け直前に水気をしっかり取る。
- ③ キュウリは板ずりして洗い、薄く切ってポリ袋に入れる。軽く塩をして(分量外)袋をシャカシャカと振ってから、軽くもむ。10分ほどおき、水気をしっかり絞る。
- ④ 大葉は千切りにし、キッチンペーパーで包んでしっかり水気を絞る。

(3) 肉みそを作る

- ① 耐熱ボウルに、Aの材料を入れ、練ら

ないように注意しながら箸で混ぜる。ふんわりとラップをかけ、電子レンジで3分加熱する。

- ② 肉ダネの真ん中をリング状に空けて具材から出てきた水分を真ん中に集める。ここに白みそとみじん切りにしておいた梅干しを溶かし込むように混ぜる。a 水分と白みそ、梅干しがよく混ぜたら、全体をやさしく混ぜる。



肉ダネから出た水分を利用して、白みそと梅干しを溶かす。

- ③ 再度ふんわりとラップをかけ、電子レンジで2分加熱する。一度取り出して今度はしっかりと混ぜ合わせ、再度ふんわりとラップをかけ、電子レンジで30秒加熱する。そのまま冷ます。

(4) スープを作り仕上げる

- ① 別の耐熱ボウルにBを上から順に一つずつ、なじませながら混ぜる。ふんわりとラップをかけ、電子レンジで1分加熱する。
- ② 取り出して酢と梅干しを加え混ぜる。b



酢と梅干しはスープを加熱した後に加える。加熱前に一緒に入れると練りゴマが固まってしまうので、順番を間違えないように。

- ③ 最後によく混ぜながら冷たい牛乳を加える。器にスープを入れ、麺を加えて軽く混ぜ、スープを絡める。
- ④ キュウリと肉みそをのせ、大葉を天盛りにする。最後に梅干しをのせて、完成!

さっぱり 梅のりつくだ煮

[材料] 作りやすい分量

白ゴマ…大さじ2、焼きのり…3枚、梅干し…3個、砂糖…小さじ1、酒…大さじ3、しょうゆ…大さじ2



[作り方]

- ① フライパンに白ゴマを入れ、弱火で香りが立つまで炒る。火を止めて、のりをちぎり入れ、よく混ぜる。
- ② 残りの材料を順に入れ(梅干しは種ごと入れる)、点火して弱火に調節し、常にゆっくり混ぜながら、水分がなくなるまで3分ほど加熱する。冷めたら梅干しのタネを取り除く。

[今月の素材]

梅干し

国際的な食品衛生管理手法の考え方を取り入れた「改正 食品衛生法」により、地域の名人が作るお漬物や伝統的な食文化が危機を迎えています。目の覚めるような梅干しがこれからも食べ続けられますよう、願ってやみません。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロNR、食育プロデューサー他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

季節の お便り

大北エリア



長野県のJA大北は、長野県の北西部にある大町市、北安曇郡（池田町・松川村・白馬村・小谷村）をエリアとする、JAしみずの姉妹提携JAです。このコーナーでは、北アルプスの雄大な自然に恵まれた四季折々の信州の魅力を年4回、伝えていきます。



大町への愛が詰まった「マチスコ」



学校前の畑で唐辛子を育て、昨年10月に収穫しました



販売促進も頑張りました



黒部ダム観光放水(富山県立山町)



専用ミキサーで唐辛子を粉末に加工



ラベル作成も貼り付けも自分たちの手で行いました

中学生が地域おこしプロジェクト マチスコ(大町のタバスコ®)開発

北アルプスの麓に位置する大町市は、立山黒部アルペンルートの東の玄関口として知られ、世界有数の山岳観光ルートを提供しています。訪問者はさまざまな乗り物を使いながら、3000メートル級の北アルプスの雄大な自然を満喫できます。特に、6月下旬から始まる観光放水の期間は、黒部ダムの迫力ある姿を見る絶好の機会です。

その大町市では、地元の大町中学校の特別支援学級「こぶし学級」の生徒たちが「中学生にできる地域おこし」をテーマに掲げ、自分たちの力で故郷を活気づけたいという思いから、「マチスコ」(おまののタバスコ®)と名付けたペッパーソースの製造に取り組みました。このプロジェクトは、農業と食品加工の技術を学ぶ機会を提供するだけでなく、大町市社会福祉協議会と協力して地域社会との絆を深めています。

昨年、生徒たちは種まきから始めて唐辛子を1000本育て、ニンニクやリンゴ酢を加えて味を調整し、自家製ペッパーソースを完成させました。辛すぎず、ニンニクのパンチとリンゴ酢の爽やかな酸味が絶妙なバランスを生み出しています。現在、JA大北の農産物直売所「ええこの里」、Aコープファーマーズ大町店、いざら大町特産館などで1瓶500円で販売されています。



ポットに挿し木を植える渡邊副部長



苗床となる紙ポットに土を入れ、圃場へ運びます



活発に意見交換する部員と役職員

(左から)石切山誠組合長、青壮年部の青木雄基部長、渡邊遼平副部長、アグリプロモーション部の森一真部長



青壮年部の活動報告

いまどき! Youth

ユース

このコーナーでは、青壮年部の活動の様子を隔月で紹介しています。

今月はシキミ苗木定植の取り組みを通じて、農業収益の確保に向けた活動を取り上げます。

中長期視点で農業経営の安定化戦略を実行

青壮年部では6月からシキミの苗木定植の準備を行い、清水区吉原の山間地で苗木の採取からポットへ1万本の挿し木を行いました。

青壮年部が取り組む農業環境の課題の一つに、耕作放棄地増加への対応があります。耕作をやめた土地を有効活用し、少ない人数と費用で収益の上がる作物はどのようなものか情報を集め、シキミの栽培に挑戦することになりました。

シキミを選んだ理由はいくつかありますが、有害鳥獣の被害を受けにくいため成木の栽培管理が比較的簡単で、複合経営の農家でも主な作物の作業の妨げにならない点がメリットでした。このため、耕作放棄地を有効に利用でき、農業収入の安定化が可能な作物として期待できます。

一方、課題になる点も見えてきました。シキミの栽培はシキミ農家がそれぞれ独自のノウハウで栽培してきた経緯から、種からの栽培ではどうしても品質にバラつきが出やすくなっています。これらを踏まえ、青壮年部では5年後以降の栽培状況を見据え「良い成木から良い収穫を」を目標に品質の標準化を目指してポット栽培で苗作りを行い、広く普及する戦略に挑戦していきます。

未来を見据えた青壮年部の動きに、

J Aしみずの役員や営農経済部管理職の関心も高く、シキミの挿し木現場で青壮年部員と活発に意見を交わしました。今後はシキミ栽培を通して、中長期の未来を見据えた経営視点を持ち、収益安定化の方法を探っていきます。

青壮年部は「農協があつて良かった」「JAがよくやってくれた」と組合員に感じてもらったため、この活動を継続していきます。



部員のひとこと

時間のかかる計画ですが、シキミ栽培で「さすが青壮年部」とうらやましく思われるような活動をしていきます。



JALしみず営農企画課
青壮年部担当
荒木 逸さん

就活中の学生の皆さんへ

JAが分かる！ 仕事体験

実際の仕事現場の見学や先輩職員との懇談など、職場の雰囲気や業務の内容を知っていただける機会です。



日時 8月14日(水)～15(木)
8月19日(月)～20(火)
9月4日(水)～5(木)
<1日目>9:00～16:00(予定)
<2日目>9:00～12:00(予定)

申込期限

各開催日の
1週間前まで

会場 JAしみず本店 静岡市清水区庵原町1番地

対象 2026年3月に大学院、大学、短大、専門学校卒業見込みの方、または対象学歴卒業で2025年4月1日現在、満25歳までの方(学部・学科不問)

内容 オリエンテーション、JAの概要説明、グループワーク、先輩職員との懇談、職場見学(変更となる可能性があります)

その他 応募者多数の場合、選考をさせていただきます。選考の結果につきましては、JAしみずよりEメールでお知らせいたします。



募集人数 各回20人程度

お申し込みはこちら

●お問い合わせ

JAしみず 総務部総務課
TEL.054-367-3201
(平日 9:00～16:00)



清水厚生病院

小児科外来の診療日が増えました

2024年7月より小児科外来の診療日を拡大し、月～金曜日まで毎日受診できるようになりました。また、月・木・金曜日の午後は、新たに乳児健診と予防接種外来を開始しました。

【主な診療疾患】

生まれてすぐの赤ちゃんから中学校卒業までのお子さんを対象に、感冒や胃腸炎などの感染症をはじめとした一般診療から予防接種、乳児健診を主に行っています。

検査が必要な場合は、採血や画像検査などもあわせて速やかな診断と治療につながるように努めております。

専門外来の受診が必要と判断しましたときは近隣の総合病院へ紹介します。お子さんの体調や育児など、何かありましたらご相談ください。



【予防接種・ワクチン接種】

生後2カ月から中学校卒業までの間に接種がすすめられているワクチンを主に外来で接種しています。

その他、おたふくかぜワクチンやインフルエンザワクチンなど自費でのワクチン接種も行っております。

スケジュールが乱れた場合もご相談ください。



【小児科診察日】診察医：京極朋子医師

医師	時間曜日	月	火	水	木	金
京極	午前	9:00～11:00	10:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00	9:00～11:00
	午後	13:00～14:00	-	-	13:00～14:00	13:00～14:00

※ 午後の診療は、原則乳児健診と予防接種外来を実施します。
※ 11時以降に体調不良等で受診を希望される場合は、一度お問い合わせください(火・水曜を含む)。

ホームページが
リニューアルしました!



JA静岡厚生連 清水厚生病院

静岡市清水区庵原町578-1
TEL : 054-366-3333(代表)
FAX : 054-364-5503

問い合わせ・予約 平日14:00～16:30
電話にてご予約ください。

外来受診 初診/平日8:30～11:00
再診/平日7:30～11:00



農機農具掲示板

農業をやめたり、作物を変更したりした生産者の皆さんが不用になった農機や農具を、必要な方に有効利用していただくための情報提供の場です。

コンテナ・防除タンク・動力噴霧器・草刈機・チェーンソー・自走台車・茶刈機・耕運機・田植え機・ポンプ・モノラック・水耕設備・脚立・ポットなど、農機・農具であれば、範囲は特定しません。

譲ります!

種別：粉砕機 HAIGE 数量：1台
型式：HG-GS-65S 価格：応談

問合せ：池田（清水区殿沢）
TEL：090-9187-3092

掲示板利用の流れ

- 申込 営農センター・営農拠点
- ▼
- 締切 毎月末日
- ▼
- 掲載 翌々月の広報誌
- ▼
- 取引 当事者間で直接交渉。
不成立の場合は、再掲載が可能。

手数料
不要

お申し込み・受付

JALしみず購買課 TEL:054-363-0334
または各地域営農センター・営農拠点

今月の表紙



JALしみず プラム部会

静岡県内唯一のプラム生産部会として研さんを積む。温暖な気候を生かして、露地栽培では全国1、2位を争う早出しの産地。部会には12戸が所属し、例年6月上旬から8月上旬まで「大石早生」「ソルダム」「太陽」などの品種を出荷する。

編・集・後・記

時々鳥取県に行く機会があります。清水の夏と言えばみなと祭りですが、鳥取市でも毎年8月は「鳥取しゃんしゃん祭」が開催され、「しゃんしゃん傘」という傘を使って市民が踊ります。市民参加型のお祭りは全国にあります。それぞれ個性があって面白いですね。（山梨）

住みやすい静岡県だが、今年の夏は気温40℃を記録するなど穏やかでない。そんな中、休日に車をのんびり走らせて隣の直売所へ。帰ろうとしたら、なんとバッテリーがアウト。電力消費が通常より大幅に増えて過負荷に(泣)。人間も車もメンテといったわりは大事だ。（横谷）

知らないうちにあしながバチが家のベランダに巣を作っていた。スプレーで駆除できることを知って買ってはみたものの、夏は攻撃性が高まる時期と知っておじけづき、実行できずにいる。今日もわが家のベランダには「ブンブン」ハチが飛ぶ(泣)（杉山さ）

興津川の上流にある「やませみの湯」に行ってるんびりしてきました。山に囲まれて虫の声を聞きながら露天風呂に入るととても癒やされました。おいしいソバ屋やおしゃれなカフェもあって、とても良い所でした。すぐ近くのキャンプ場もいつか体験してみたいです。（見宮）

JALしみず サマーキャンペーン2024



【取扱期間】2024年6月14日(金)～2024年8月30日(金)

期間中、**新規**で定期貯金(10万円以上)をご契約の方に
※新規とは、当JA以外から新たにお持ちいただいた資金となります。

今年の夏はJAで決まり!!
特別金利をご用意しました!!

3年(複利型) 適用金利 年0.35% (税引後年0.278%)

1年(単利型) 適用金利 年0.30% (税引後年0.239%)

※既に当JAにお預けいただいている普通貯金・定期貯金等からの本商品への切り替えは対象外です。
※中途解約する場合は、当JA所定の中途解約利率を適用します。
※利息に20.315% (国税15.315%、地方税5%)が分離課税されます。

- お問い合わせ
詳しくはお近くのJALしみず金融窓口までお問い合わせください。

ふれあい館 夏季休業日のお知らせ

誠に勝手ながら、ふれあい館(不動産センター、ローンセンター)は、下記の期間を夏季休業とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

- 夏季休業期間 8月10日(土)～15日(木)まで
- お問い合わせ 不動産センター TEL: 054-367-3215
ローンセンター TEL: 054-367-3268

理事会だより

定例理事会:6月26日(水)

議事

- 2023年度 下半期監事監査指摘事項に対する回答について
- 2023年度 業務報告書について
- 2023年度 連結業務報告書について
- 従たる事務所(両河内支店・三保支店)の廃止について
- 理事の月額報酬の設定について
- 固定資産の取得及び処分について
- 固定資産の処分について
- 大口先に対する貸出議案について



今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

ゆるっと発見!

しみずの魅力

第16回
今回のルート
JAしみず興津支店

東海道17番目の宿場町を歩く

興津という地名は興津島姫命(おきつしまひめのみこと)という神様がこの地に住居を定めたことが由来という説があります。今回は風光明媚なこの地域を歩いてみたいと思います。

奈良時代創建といわれる清見寺から東に進むとすぐに東海道興津宿の碑があり、ここで地域の歴史を確認できます。国道号線を右に曲がると新興津緑地公園が見えてきます。この健康遊歩道はぜひお試しください。



東海道興津宿の碑 / 地域の歴史や東海道興津宿についての解説が記載されています。興津坐漁荘、宗像神社についても記載があります。



新興津緑地公園 / バイパス沿いの開放感がある緑地公園です。高台からは国バイパスとその向こう側の多目的グラウンドの様子などが見渡せます。



興津宿公園 / 園内には興津宿の案内板やスタンプ台が設置されています。「興津町役場跡」の石碑もあります。

地域クローズアップ
〈興津地域〉

start 清見寺
goal JAしみず興津支店

今回のルート

興津生涯学習交流館を左に曲がり国道号線に復帰です。興津宿の東西本陣(あと)を過ぎると興津宿公園があります。緑が豊かな公園です。さらに東に進むとJR興津駅が見えてきます。この興津駅から清見寺までは線路沿いに細道があり、電車との距離が近く、いつか機会があれば歩いてみたい道です。

興津生涯学習交流館を過ぎ、ひたすら歩いて東名高速の手前を右に曲がると興津支店が見えてきます。汗まみれで疲れもピークですが、なぜか興津川が見たくなり、興津大橋まで歩いた後、興津支店に戻ってゴールです。あまりの疲労困憊ぶりを見かねた興津支店長がお茶を持ってきてくれました。ありがとうございました。

今回のスタート

1 清見寺

2 東海道興津宿の碑

3 新興津緑地公園

4 興津宿公園付近の踏切

5 JR興津駅

6 身延道入り口の碑

7 身延道の郵便ポスト

8 興津大橋

今回のゴール

JAしみず興津支店(ゴール)

支店前は朝市でいつもにぎわっています(毎週月曜～金曜の7時45分～17時開催)。

「昭和52年3月竣功」とあります。地域の人が5の大動脈となっています。

徳川家康他歴史上の人物とも関連が深い寺院です。境内全域が朝鮮通信使遺跡として国の史跡に指定されています。

地域の玄関口として多くの人々が利用しています。脇の休憩スペースには「興津地場産産業」の大きな看板があります。

山梨県の甲府相生まで約80kmといわれる道のりの出発点です。身延山参詣の信仰の道ともいわれています。

身延道だけでなく、今回の街歩きの間もこの形のポストを見かけました。郵便差出箱一号丸型と思われる。